

秋のお楽しみ会

2 A病棟 星屋聡子



2 A病棟では11月10日（金）に秋のお楽しみ会が催されました。サンバの「アミーゴ」（男性1名、女性2名）の皆さんに来ていただきました。旧センターで行われてから4年ぶりです。デイルームには盛大に装飾をし、この日をワクワクドキドキして待ちました。

サンバの音楽と素敵な衣装をまとった情熱的なダンサーの姿に、皆さん笑顔があふれていました。感動して涙を流す方や、リズムを感じながら一緒に鈴を鳴らす方もいらっしゃいました。会場は熱気であふれ、臨場感と一体感を感じることができました。利用者をはじめ職員もダンサーと一緒に踊ったり、楽器を鳴らしたりと会場は盛り上がり、秋の楽しい会になりました。



テーマ別改善運動院内発表会

庶務担当 院内発表会事務局



11月9日（木）、テーマ別改善運動院内発表会が開催されました。

院内から9サークルが参加し、利用者の療育生活向上の取り組みや職場環境の整備、災害時の給食提供など職場で抱えている身近な問題について様々な内容の発表がありました。

澁谷院長からは、「どのサークルも非常に良い取り組みであった。日頃から業務改善について考えている

からこそ様々なアイデアがでてくるのだと思う。これからは職員みなさんが問題に取り組み、改善していくことを引き続き行ってほしい。」との講評がありました。

最優秀賞は、患者の不安払拭のため歯科外来受診前に治療の様子が見える動画を作成したサークルが受賞しました。令和6年1月17日に開催される都立病院等との合同発表会に、センター代表として出場します。

合同発表会
がんばります！

最優秀賞受賞サークル
イメージキャラクター「アイラ」



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第551号 発行日 令和5年11月30日

新人看護職員 臨床研修修了式

看護科（研修教育担当看護師長） 斎藤真知子



新人看護師全員は、6か月間の臨床研修を修了しました。11月2日（木）に部署の看護師長が見守る中修了式が行われ、緊張した面持ちで修了証を受け取りました。新人看護職員教育年間プログラムは、都立病院では通常3か月としていますが、当センターでは重症心身障害児者の理解に重点を置き、7期に分け6か月としています。その間、教育担当者と実地指導者が中心となって、臨床研修指導計画書のもと、病棟職員全員が新人看護師の指導に携わり支援しています。

今年度の新人看護師は、学生時代の3年間を新型コロナウイルス感染症の影響により、臨地実習が十分行えない中で入職しました。そのため、看護技術演習の項目や時間を増やし、技術の習得に努めました。また、新人看護師が入職前の理想と入職後の現実を感じるギャップを軽減するため、今年度も夜勤シャドーイングを行い、利用者さんの夜間の様子や看護業務を知る機会を設けました。新人看護師は、先輩との関りの中から利用者の個性に応じた看護実践を学び、病棟の雰囲気にも慣れコミュニケーションが図れるようになりました。適度な緊張感を持ちながらも看護師としてひとりでできることも増え、夜勤のひとり立ちもできるようになっています。また、利用者さん個々に寄り添う看護を実践し、笑顔を引き出す関りも増えたことで、自身の喜びに繋がっています。

5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、黙食・孤食等は継続しています。このため先輩職員との談笑の場は限られてはいますが、病棟看護師長、教育担当者、実地指導者、病棟スタッフの温かい支援のもとコミュニケーションをとりながらがんばっています。

今後も多重課題への対応や短期利用者の受持ちなど新たに学ぶこともありますが、新人看護師のみなさん笑顔で一歩ずつ前に進んでいきましょう。センター職員みなで見守り、支援していきます！

多重課題研修の体験型演習場面



秋の企画「食欲、芸術、スポーツの秋を楽しもう！」

生活療育支援科 植田明香理

11月21日（火）、22日（水）に「秋の企画」を行いました。入所、通所、通園の利用者の皆様とともに4年ぶりに面会に見えたご家族にも参加していただきました。

今年の企画は秋にちなんだ3つのコーナーを用意しました。活動室3は、「食欲の秋」をテーマに秋が旬の果物や植物を五感で感じられるコーナーを作りました。室内を紅葉のタペストリーとオレンジ色のオーガンジーの布で飾りつけ、芋ほりゲームや活動で作ったぶどう棚、果物の形のマラカス、ビッグマック（録音や再生ができる音声コミュニケーション装置）で鳴らす秋の歌などを体験していただきました。また、目の前で焼きりんごと焼き芋を加熱し、実物の香りや見た目を楽しみました。多くの方が興味をひかれたようで、「いい匂い」との感想が聞かれました。



活動室5は、「芸術の秋」をテーマにした美術館コーナーにしました。入口でボタンを押すと向かい合わせにした鏡の中にカラフルな光と一緒にたくさんの自分の姿が映し出され、驚いている方もいらっしゃいました。名画の通路を抜けた先には、グリーンバックの撮影エリアを設置。浮世絵、現代アート、印象派などさまざまな名画の中から自分で好きな名画を選び、グリーンバックの前で撮った自分の写真と合成することで、あたかも絵画の世界に入り込んだかのような体験ができました。



多目的ホールでは、「スポーツの秋」をテーマに即興大運動会を行いました。フォークダンスから音楽玉入れ、ロープで行う「なべなべそこぬけ」、紙テープ相撲、フラフープを順に回していく「あんたがたどこさ」、透明コップ運びリレー、暗闇でソーラープロジェクターを投影しながら行うパラバルーンなど、多くの方が競技に参加されました。多目的ホールに行くまでどの競技をやっているか分からないサプライズ性を楽しんでいただきました。



一緒に会場を盛り上げて下さった皆さまに感謝です。



「第33回 地域療育講習会」開催

地域療育支援主任技術員 清水孝子



9月29日、地域療育講習会「通所のあいうえお～安心・医ケア・受け入れ・笑顔・お風呂～」を開催しました。

新たな府中療育センターとなり、第28回の「健康維持はまず歯から」で歯科を、第31回の「親子と多職種でONE TEAM～通園における療育について」で通園（医療型児童

発達）を紹介しました。今回は、その第3弾として通所（濃厚な医療的ケアが必要な方への生活介護事業・都要綱による通所事業）を紹介しました。

講習会の内容は、サービス管理責任者による「《あ》安全・安心に通所していただくために～通所ってどんなところ？～」、通所担当医による「《い》医療的ケア～通所担当医の関わり～」、通所担当看護師による「《う》受け入れに向けて～現場実習から通所に安心して通えるまで～」、通所担当心理による「《え》笑顔を支える～通所における生活療育支援科の関わり・心理の関わり～」、サービス管理責任者による「《お》穏やかに過ごす～お風呂やお出かけ、行事・活動など～」、あ・い・う・え・おの5部構成で話が進みました。

講習会後のアンケートでは「通所の取り組み全体の様子が詳細に説明されていて、とてもよく理解できた。」「写真が多くイメージが付きやすかった。」等、好評をいただきました。よりすばらしい発表となったのも、写真掲載にご協力いただいた通所利用者さまとご家族のお陰です。御礼申し上げます。

聴講者の皆様にはアンケートにご回答いただきありがとうございました。皆様からのご意見やご質問・回答を載せたアンケート結果を当センターのホームページに掲載しております。ぜひお目通しください。またいただいたご意見を参考に、令和6年2月開催予定の第34回講習会の準備をすすめております。次回もお申込みをお待ちしております。



府中療育センター運営方針説明会

11月19日（日）、令和5年度府中療育センター運営方針説明会を開催しました。コロナ禍のため、4年ぶりの開催となりましたが、利用者のご家族47名にご参加いただきました。

センターからは、新施設の概要や運営体制、新型コロナへの対応状況、キャンパス内での都立病院改築計画などをご説明し、質疑応答を行いました。

今後は、毎年度運営方針説明会を開催してまいりますので、多くの方のご参加をお願いいたします。

